

開催日	平成19年 12月21日(金) 14:00~16:00
出席者	区民7名・四谷消防署員1名・消防団1名・出張所主査・担当職員
テーマ	救命救急勉強会
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命救急の基本的な流れと要点</li> <li>・AEDの操作について</li> <li>・実技と質疑応答</li> </ul>
勉強会報告	<p>来年度第5分科会で企画予定の救命救急講習会(資格取得)に向けて、実際の講座の流れ、様子、実技を通して参加者の意見交換を目的とした勉強会を開催いたしました。</p>  <p>現場に遭遇した時に知識と勇気が必要です</p>  <p>勉強会とはいえ、実技には緊張感が伴いました。実際の事故遭遇にあたり戸惑わず、勇気を持ち救命する難しさもありますが、まさしく「見て・聞いて・感じて」の号令どおり「受講することがまず大切」と感想をお寄せいただきました。</p> <p>応急手当の意義 ・救命 ・悪化防止 ・苦痛の軽減</p> <p>カーラーの救命曲線による生存率 心臓停止後 1分30秒・・・100%蘇生可能 3分・・・50%蘇生可能 5分・・・95%死亡 呼吸停止後 10分・・・50%蘇生可能</p> <p>迅速な救命救急をできるように、より多くの方に受講できる機会を 第5分科会では考えていきたい。</p> <p>質疑応答から</p> <p>Q1 昔習った救命救急と方法が違うのですが・・・ A1 救命救急法は5年に一度見直しがされます。2005年からは、2回の人工呼吸法と30回の胸骨圧迫の繰り返しを救急隊員到着まで繰り返す内容となっています。</p> <p>Q2 AEDは併用していいのですか？ A2 もちろんAEDがあれば、使用します。(しかしAEDも使用回数に制限があります。)</p> <p>Q3 胸骨圧迫は全身の力で行いますが、胸の骨が折れそうで怖いです・・・ A3 骨が弱い高齢者の場合は時に肋骨の骨折がおきますが臆せず続けることも必要です。</p>
次回日程	<p>夜間非難訓練について勉強会 1月24日(木)15:30~ 四谷地域センター11階集会室4 危機管理課 事業推進係担当者を招いて事前勉強会をいたします。</p>